大谷っ子

R8.11.1
第１２号



ふるさと大谷を想い　自他を大切にし
未来をたくましく生きる子どもの育成

朝日町立大谷小学校
校長　遠藤　秀彦

英語で生活し 初めての地を友と巡る

私は、今でも小学校６年生の時の修学旅行を思い出します…。

福島県への修学旅行…。あぶくま洞を見学し、芦ノ牧温泉に宿泊。次の日は会津若松市の飯森山、さざえ堂を見学し、鶴ヶ城で記念撮影。白虎刀を買い満足して帰路に…。楽しかった思い出ばかりですが、全員が同じことを一斉に行う、そんな時代の修学旅行でした。

今、教育は、**「そろえる教育」から「違える教育」へ**転換が図られています。「同じことを一斉に行う」ことはもちろん大切です。しかし、**「自分で考え判断し動く」教育を大切にし、「時代を創る人　変化に対応できる人」を育む**ことが求められています

朝日町では８年前、当時教育長であった小林道和先生が、「ブリティッシュ・ヒルズ」へ３校合同で行く修学旅行に切り替える決断をされました。教育者として国内外を巡り、英語の重要性を強く感じていたからです。

今年度６年生は、１０月８日、９日、一泊二日の行程で修学旅行に行ってきました。一日目は、福島県天栄村「ブリティッシュ・ヒルズ」での英語レッスン、そしてテーブルマナー講座。二日目は、会津若松市での班別研修。事前に計画を立て、仲間と初めての地を巡りました。













合同修学旅行は、未来を担う子どものため、町からの補助をいただいている事業です。そのことは子どもにもしっかりと伝えています。

１０月１６日（金）にマラソン記録会・自由参観、そして第２回学校運営協議会を開催しました。

【マラソン記録会】

最後まで力を振り絞り走る姿、大きな声で応援する姿。大谷小学校の子どもたちのよさがあふれた記録会でした。





【自由参観】

「学びたい！」子どもたちの授業での姿を学校運営協議会委員、保護者、地域の方に見ていただきました。



第2回「学校運営協議会」～閉校に向けて～

「閉校に向けて」をテーマに、閉校記念事業実行委員会の組織等について熟議を行いました。

組織の大枠について固まってきました。地域の皆様には、本年度中に**「閉校記念事業実行委員会組織」に関してご報告**できればと思っています。

学校運営協議会も残すところ、あと一回。委員の皆様、お忙しい中、本当にありがとうございます。よろしくお願いします。

学校運営協議会委員（敬称略）

小林　重敏（北部地区区長会会長）
阿部喜栄治（　〃　副会長）
鈴木　直幸（ドキドキ探検隊代表）
遠藤美枝子（地域の先生）
志藤　智之（PTA 副会長）
川村　友佳（PTA 母親副委員長）
小鹿　幸子（北部公民館長）
遠藤　秀彦（校長）
白田　幸子（教頭　事務局）
鈴木駿太朗（教育委員会　事務局）